

住家被害認定調査票		調査票番号	■判定した住家の範囲が分かるように記載
地震 木造・プレハブ 第1次A			
調査日	令和 年 月 日	3 配置状況	
1 調査時	: ~ :		
調査員			
所在地			
世帯主			
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)		

4 応急危険度判定	<input type="checkbox"/> 応急危険度判定調査表等に記載されている傾斜、コメント等を転記 <input type="checkbox"/> 応急危険度判定調査表等に記載されている傾斜、コメント等を転記
-----------	--

5 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊	いずれかに 該当	□判定へ (全壊)
	<input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊		
	<input type="checkbox"/> 一見して住家全部が流出又はずり落ち		
	<input type="checkbox"/> 基礎のいずれかの辺が全部破壊し、かつ基礎直下の地盤が流出・陥没		
	<input type="checkbox"/> 地盤面の亀裂が住家直下を縦断・横断		

6 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	6cm以上 (下げ振り120cm の場合)	□判定へ (全壊)
	水平距離 (cm)							

7 躯体	<input type="checkbox"/> 基礎の損傷率が75%以上である (損傷長/全長×100)	損傷率 75%以上	□判定へ (全壊)

8 基礎	損傷率	0%	~10%	~20%	~40%	~60%	~74%
	損害割合	0	1	2	4	6	7

9 壁	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%
	無被害程度	0	0	0	0	0	0
	I程度	1	2	3	5	6	8
	II程度	2	4	8	11	15	19
	III程度	4	8	15	23	30	38
	IV程度	6	11	23	34	45	56
V程度	8	15	30	45	60	75	

10 屋根	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%
	無被害程度	0	0	0	0	0	0
	I程度	0	0	1	1	1	2
	II程度	0	1	2	2	3	4
	III程度	1	2	3	5	6	8
	IV程度	1	2	5	7	9	11
V程度	2	3	6	9	12	15	

【損害割合算出表】 (注)「6傾斜」の平均値が2cm未満の場合「計あ」の値を、2cm以上の場合「計あ」又は「計い」のうち大きい値を住家の損害割合とする。

傾斜	8基礎	+9壁	+10屋根	= 計あ	傾斜	6傾斜	+10屋根	= 計い
	無					1	5	
判定	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上	
		<input type="checkbox"/> 準半壊に至らない (一部損壊)	<input type="checkbox"/> 準半壊	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊	

住家被害認定調査票 地震木造・プレハブ第1次B		調査票番号	配置状況	■判定した住家の範囲が分かるように記載
調査日	令和 年 月 日			
1 調査時	: ~ :			
調査員				
所在地				
世帯主				
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)			

4 応急危険度判定	<input type="checkbox"/> 危険 <input type="checkbox"/> 注意 <input type="checkbox"/> 調査不明	■応急危険度判定調査表等に記載されている傾斜、コメント等を転記
-----------	---	---------------------------------

5 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 一見して住家全部が流出又はずり落ち <input type="checkbox"/> 基礎のいずれかの辺が全部破壊し、かつ基礎直下の地盤が流出・陥没 <input type="checkbox"/> 地盤面の亀裂が住家直下を縦断・横断	いずれかに該当 →	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
------	---	-----------	-----------------------------------

6 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	6cm以上(下げ振り120cmの場合) →	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
	水平距離 (cm)							

7 躯体	<input type="checkbox"/> 基礎の損傷率が75%以上である (損傷長/全長×100)	損傷率75%以上 →	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
------	---	------------	-----------------------------------

8 基礎	損害割合	無被害	1	2	4	6	7
------	------	-----	---	---	---	---	---

9 壁	損害割合	無被害	8	15	30	45	75
-----	------	-----	---	----	----	----	----

10 屋根	損害割合	無被害	2	3	6	9	15
-------	------	-----	---	---	---	---	----

(備考)

【損害割合算出表】

Aに該当かつBに該当(傾斜有を計算)

A「6傾斜」の平均値が2cm以上(6cm未満)である
B「9壁」の損害割合が無被害又は8である

上記以外 (傾斜無を計算)

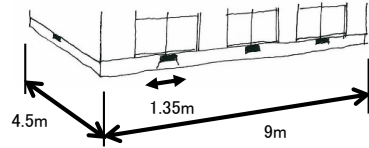
	8基礎	+ 9壁	+ 10屋根	= 計		6傾斜	+ 10屋根	= 計
傾斜無						1 5		
傾斜有								

判定	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/> 準半壊に至らない (一部損壊)	<input type="checkbox"/> 準半壊	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

住家被害認定調査(地震:木造・プレハブ_第1次B) 損害割合イメージ図

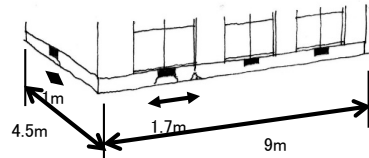
本資料では、各イメージ図において、描かれていない他の2面が、概ね同等の損傷状況である前提で、損害割合を算定している。住家の各面において損傷状況が異なる住家について、イメージ図を参考に損害割合の判定を行う際には、各面の面積を考慮して判定する必要がある。

<基礎> 構成比10%



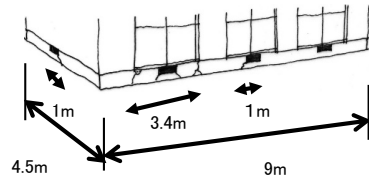
損害割合 1%

損傷率=
 $1.35\text{m}/13.5\text{m}=10\%$
 ・ひび割れの集中(2つのひび割れの間隔は0.35m)
 損害割合=損傷率×構成比=1%



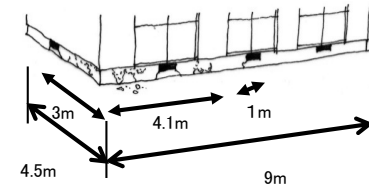
損害割合 2%

損傷率=
 $(1+1.7)\text{m}/13.5\text{m}=20\%$
 ・ひび割れと、ひび割れの集中(2つのひび割れの間隔は0.7m)
 損害割合=損傷率×構成比=2%



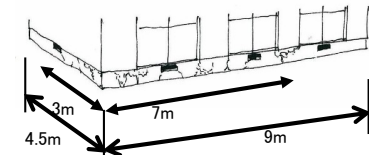
損害割合 4%

損傷率=
 $(1+3.4+1)\text{m}/13.5\text{m}=40\%$
 ・ひび割れの集中、剥落が生じている。
 損害割合=損傷率×構成比=4%



損害割合 6%

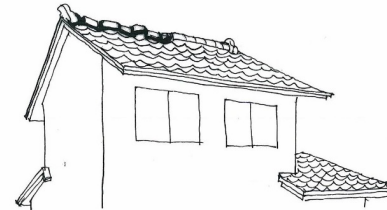
損傷率=
 $(3+4.1+1)\text{m}/13.5\text{m}=60\%$
 ・ひび割れの集中、剥落が生じている。
 損害割合=損傷率×構成比=6%



損害割合 7%

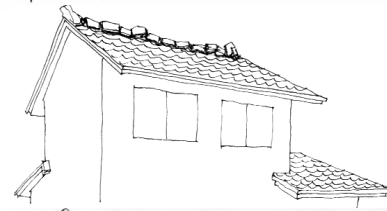
損傷率=
 $(3+7)\text{m}/13.5\text{m}=74\%$
 ・ひび割れの集中、剥落が生じている。
 損害割合=損傷率×構成比=7%

<屋根> 構成比15%



損害割合 2%

損傷率=
 $25\%(\text{程度II}) \times 4/10=10\%$
 ・棟瓦のずれ、破損、落下が著しいが、その他の瓦の損傷は少ない。
 損害割合=損傷率×構成比=1.5%



損害割合 3%

損傷率=
 $25\%(\text{程度II}) \times 8/10=20\%$
 ・棟瓦のずれ、破損、落下が著しいが、その他の瓦の損傷は少ない。
 損害割合=損傷率×構成比=3%



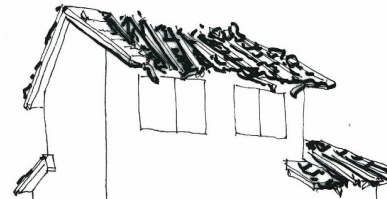
損害割合 6%

損傷率=
 $50\%(\text{程度III}) \times 8/10=40\%$
 ・棟瓦が全般的にずれ、破損あるいは落下している。棟瓦以外の瓦のずれも著しい。
 損害割合=損傷率×構成比=6%



損害割合 9%

損傷率=
 $100\%(\text{程度V}) \times 6/10=60\%$
 ・小屋組の損傷が著しく、葦材の大部分が損傷を受けている。屋根仕上面全面にわたって不陸、亀裂、剥落が見られる。
 損害割合=損傷率×構成比=9%



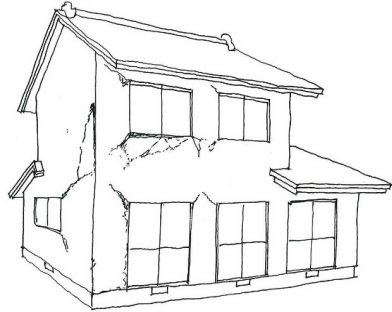
損害割合 15%

損傷率=
 $100\%(\text{程度V}) \times 10/10=100\%$
 ・小屋組の損傷が著しく、葦材の大部分が損傷を受けている。屋根仕上面全面にわたって不陸、亀裂、剥落が見られる。
 損害割合=損傷率×構成比=15%

住家被害認定調査(地震:木造・プレハブ_第1次B) 損害割合イメージ図

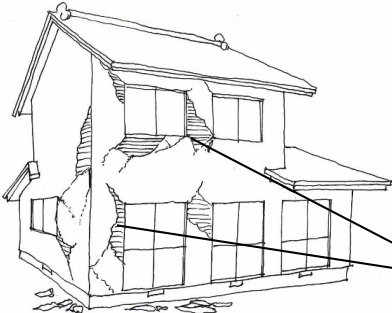
本資料では、各イメージ図において、描かれていない他の2面が、概ね同等の損傷状況である前提で、損害割合を算定している。住家の各面において損傷状況が異なる住家について、イメージ図を参考に損害割合の判定を行う際には、各面の面積を考慮して判定する必要がある。

<壁> 構成比75%



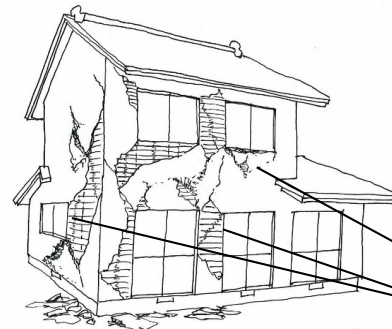
損害割合 8%

損傷率=
 $25\% (\text{程度II}) \times 8/20 = 10\%$
 -仕上の剥離が生じている。
 損害割合=損傷率×構成比=7.5%



損害割合 15%

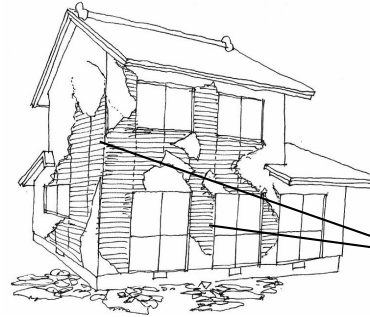
損傷率=
 $50\% (\text{程度III}) \times 8/20 = 20\%$
 -仕上材が脱落している。
 損害割合=損傷率×構成比=15%



損害割合 30%

損傷率
 $50\% (\text{程度III}) \times 4/20 = 10\%$
 $75\% (\text{程度IV}) \times 8/20 = 30\%$
 -仕上材が脱落している。 } 40%
 -仕上材が脱落しており、下地材にひび割れが生じている。
 損害割合=損傷率×構成比=30%

仕上材が脱落している。(程度III)
 下地材にひび割れが生じている。(程度IV)



損害割合 45%

損傷率=
 $75\% (\text{程度IV}) \times 16/20 = 60\%$
 -仕上材が脱落しており、下地材にひび割れが生じている。
 損害割合=損傷率×構成比=45%

下地材にひび割れが生じている。(程度IV)

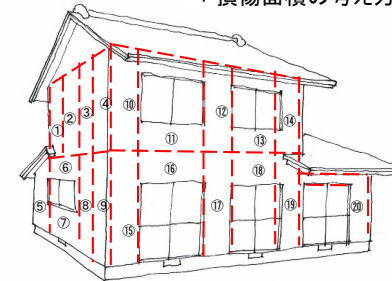


損害割合 75%

損傷率=
 $100\% (\text{程度V}) \times 20/20 = 100\%$
 -仕上材が脱落しており、下地材に破損が生じている。
 損害割合=損傷率×構成比=75%

下地材に破損が生じている。(程度V)

* 損傷面積の考え方



※仕上材が脱落している場合の取扱い
 壁の仕上材が脱落している場合、下地材の損傷状況により、当該部分の損傷程度が以下のとおり異なることに留意して下さい。

- 損傷なし ⇒ 程度III(50%)
- ひび割れあり ⇒ 程度IV(75%)
- 破損あり ⇒ 程度V(100%)

住家被害認定 調査票	調査票 番号	
		地震 木造・プレハブ 第2次-3

8	面積率	床	主要階 (1)	その他階 (2)	計 1.0
		屋根	(3)	(4)	1.0

		主要階							
		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
9	外壁	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	10%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
10	内壁	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	10%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
11	床 (階段含)	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	10%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	

		その他階							
		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
9	外壁	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	10%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	C
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
10	内壁	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	10%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	C
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
11	床 (階段含)	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	10%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	C
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	

		本数(面積率)	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
12	柱 (又は耐力壁15%)	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	15%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
13	屋根	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(3)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	15%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
14	天井	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1	
		程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1	
	5%	程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3	B
		程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4	
		程度Ⅴ	1	1	2	3	4	5	
15	建具	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	15%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	

		本数(面積率)	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
9	外壁	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	10%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	C
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
10	内壁	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(4)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	10%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	C
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
11	床 (階段含)	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
		程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1	
		程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1	
	10%	程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3	C
		程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4	
		程度Ⅴ	1	1	2	3	4	5	
12	柱 (又は耐力壁15%)	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	15%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	C
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	

		階	損傷の状況	主要階/その他階	損傷の状況	%	計
16	設備	浴室 (3%以内)	1%. 配管のズレ等 2%. バスタブの割れ等 3%. 再使用が不可能	主要階	その他 (左記以外 の水回り、 ベランダ等 4%以内)	B	C
	10%	台所 (3%以内)	1%. 配管のズレ等 2%. 再使用は可能だが大きく破損 3%. 再使用が不可能	その他階			